

追分高校で学校祭

第56回の追高祭が7月12日と13日に行われました。校舎前の出店ではクラスごとに焼きそばやかき氷などを一般の人にも販売。PTAの皆さんのカレーライスも人気があり、新鮮な自家野菜なども販売し好評でした。

夕方にはあんどんが町の中を練り歩き、日暮れ時には絵と幻想的な光が歩道で見る人の目を楽しませていました。各部門の成績が発表された後、花火が打ち上げられ、夜空に大輪の花が開いていました。



プロから学ぶことに優るものはない

7月17日に三重県伊賀市にある愛農学園高校第44期生の実習生9人が農家に滞在しながら農業を体験するため安平町に来ました。「3週間という期間ですが、有意義な日々を送ってください」と幅田副町長

から歓迎のあいさつ。実習生の代表者が「受け入れしていただいた農家の方にお礼申し上げます。農業のプロから学ぶことに優るものではなく心強いです。」と感謝と農作業に対する決意の気持ちを述べました。

今回来町した生徒は静岡県や沖縄県など出身はさまざま。JAとまこまい広域三上譲早来支所長から「北海道弁は命令口調でき

つく感じるかもしれません。また朝晩は冷え込むので体調の管理をしっかりとってください」と一言アドバイス。受け入れ式を終え、実習生の皆さんはそれぞれの農家に向かいました。

幅田副町長から歓迎のあいさつ



着衣での救助法を指導

7月18日せいこドーム内の温水プールで水泳教室が開催され、救助方法などの研修が行われました。

苦小牧水上安全赤十字奉仕団の講師が服を着た場合の対処法を指導。「おぼれた人を安全な場所まで泳いで連れてくる自信がなければ、安易に水に飛び込み助けに行くことは危険です」とアドバイスします。

これから水難事故が増える時期を迎えますが、参加した人たちは真剣な様子で実技を受けていました。



～地域の安全を見守るために～

北進自治会としらかば自治会では、日頃から地域の交通の安全確保や、子どもたちを狙う凶悪な事件などを未然に防ぐ活動を行っています。

両自治会では、これらの活動を強化するため「安平町地域防犯活動団体」として申請を行い7月17日に役場早来庁舎で委嘱状が交付されました。

青色回転灯を装着した車両は今後、防犯パトロールを行い、また、児童や生徒の登下校の際には、腕章やステッカーを装着し人たちが防犯活動を行ないます。



委嘱状を受け取るしらかば自治会長西川英治氏(写真上)、北進自治会長鈴木忠康氏(写真右)

